

2021 年度 自己評価 結果及び対策・改善報告書

評価項目	評価結果 及び 対策	改善結果（進捗状況）
<p>I、組織体制について</p> <p>① 利用定員とスペースとの関係は適切か</p> <p>② 職員配置は適切か</p> <p>③ バリアフリー化の配慮</p>	<p>① どちらともいえない、いいえの両方で 100%の回答</p> <p>2か所での活動をしている。規定のスペースの確保はできているが、室内での活動では密になってしまう。グループ分けをし外出支援等を含めた活動を行っている。</p> <p>② いいえ 60%の回答</p> <p>利用児童に対する職員数はクリアしているが、マンツーマンの支援が必要な児童が多いことや1年生もマンツーマンで対応することが増えたため「足りない」との評価となった。また男性職員が少ないとの意見もある。思春期に入ってきた男児への対応について、男性職員が介入した方がいいと感じている職員もいる。</p> <p>③ いいえ 20%</p> <p>ほぼ良い評価はあったが、児童が過ごす場所としての配慮が十分でない</p>	<p>「密」を防ぐためのグループ分けの活動は継続中。</p> <p>職員の補充については、募集等継続して実施しているが解決できていない。</p> <p>バリアフリーについての評価は良いが、はなえみ児童に対しては配慮不足な点もあるため今後検討していく必要あり。</p>
<p>II、業務改善</p> <p>④ 業務改善のための職員の参画</p> <p>⑤ アンケート等による保護者の意向等の把握からの業務改善</p> <p>⑥ ホームページへの公開</p> <p>⑦ 外部評価からの業務改善</p> <p>⑧ 研修の機会の確保</p>	<p>④ どちらともいえない 60% いいえ 0%</p> <p>会議に出席できない場合があるため。</p> <p>⑤ 60%はいの回答</p> <p>⑥ 半数の職員がホームページの掲載を知らなかった</p> <p>⑦ ~⑧40%はいの回答</p> <p>法人での研修には参加しているが、外部での研修には参加できていない。</p>	<p>月1回の会議出席に全員が揃うことは難しい。会議議事録を読んでもらい、意見があるところや不明点については質問してもらおうようにしている。研修の確保については、外部研修は参加できなかった。</p>
<p>III、適切な支援の提供</p> <p>⑨ 適切なアセスメントからのサービス計画書の作成</p> <p>⑩ 標準化されたアセスメン</p>	<p>⑧ ~⑩</p> <p>定期的な会議におけるモニタリング、日案に基づいた支援活動の検討・打ち合わせについてはほぼできているとの評価がされ</p>	<p>アセスメント、計画書、活動計画については、十分な話し合いができています。また、LINEを活用して工夫をすることによ</p>

<p>トツール</p> <p>⑪ 活動プログラムの立案</p> <p>⑫ 活動プログラムの工夫</p> <p>⑬ 平日、長期に応じた支援</p> <p>⑭ 個別活動と集団活動を組み合わせたサービス計画書の作成</p> <p>⑮ 支援の打ち合わせ、内容や役割分担の確認</p> <p>⑯ 支援の振り返り、確認</p> <p>⑰ 日々の記録の徹底</p> <p>⑱ 定期的なモニタリングとサービス計画書の見直し</p> <p>⑲ ガイドラインの総則による支援</p>	<p>ている</p> <p>⑬いいえの回答はなかったものの、マンツーマン対応している児童が多いことからやりきれていないと感じている職員が多かった</p>	<p>って職員に活動内容を周知している。</p>
<p>IV、関係機関や保護者との連携</p> <p>⑳ 相談支援事業所とのサービス担当者会議への参加</p> <p>㉑学校との情報共有、連絡調整</p> <p>㉒医療的ケアの児童の主治医等の連絡体制</p> <p>㉓保育園、幼稚園、児童発達支援事業所との情報共有と相互理解</p> <p>㉔障害福祉サービスへの移行時の情報提供</p> <p>㉕専門機関との連携</p> <p>㉖児童館や障害のない児童との交流の機会</p> <p>㉗自立支援協議会への参加</p> <p>㉘児童の課題についての保護者との共通理解</p> <p>㉙ペアレント・トレーニングの支援</p>	<p>㉔～㉗どちらともいえないとの評価が多くあった</p> <p>㉒医療的ケアの児童は受け入れていない</p> <p>㉓～㉗については、今年度はコロナ対応で実施できていない</p> <p>㉘については、連絡ノートや送迎時を活用できていると70%が回答</p> <p>㉙専門的なペアレントトレーニングの支援については半々の意見であった</p>	<p>コロナ禍で他サービスとの意見交換等ができていない状況。早めに行動し、情報共有ができていけるといい。</p> <p>ペアレントトレーニングについては、勉強会を開催して理解する機会を設けていく</p>
<p>V、保護者への説明責任等</p> <p>㉚運営規定、支援内容、利用者負担等の説明</p> <p>㉛保護者からの相談に応じた必要な助言</p>	<p>㉚㉛はできていると評価、事業所内面談、はなえみノート活用している</p> <p>㉜今年度は支援級のクラスのみ保護者説明会を実施。座談会もおこなったが、できたとの評価の職員は40%であった</p>	<p>事業所内相談やはなえみノートの活用を継続していく。</p> <p>特別支援学校の保護者からも家族会の開催を希望しているとの声もあるため来年度はコ</p>

<p>③②保護者会等の開催、保護者同士の連携の支援</p> <p>③③苦情に対する体制の整備と敏速な対応</p> <p>③④定期的な会報の発行 連絡体制の情報の発信</p> <p>③⑤個人情報の取り扱い</p> <p>③⑥障害児や保護者との意思の疎通のための配慮</p> <p>③⑦地域住民に開かれた事業運営</p>	<p>③③～③⑥は 70～80%の職員ができると評価。</p> <p>③④定期的なはなえみ便りの発行をしている。</p> <p>③⑤③⑥は 80%から 90%の職員ができていると評価</p> <p>③⑦地域住民を巻き込んだ企画は未実施のため職員の評価も低い。</p>	<p>コロナ対策をしながらおこなっていく。</p>
<p>VI、非常時等の対応</p> <p>④⑧緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と職員への周知</p> <p>④⑨定期的な避難訓練の実施</p> <p>④⑩虐待防止についての取り組み</p> <p>④⑪やむを得ない身体拘束についての組織的な認識の共有</p> <p>④⑫食物アレルギーの児童への医師との連携</p> <p>④⑬ヒヤリハットの共有</p>	<p>④⑧④⑨マニュアルの整備、訓練の実施・検証・評価・見直しを定期的実施しているため、できていると評価している職員が多いが、マニュアルの保管場所がわからないとの意見もある</p> <p>④⑫については、食物アレルギーの児童がいないため医師との連携は今のところ実施していないが、内服薬により禁止されている食物に関しては職員間で共有している。</p> <p>④⑬毎月、ヒヤリハット、アクシデントの報告の集計を行い対策の検証を定期的実施しているため 80%の職員はできていると評価。</p>	<p>ミーティングの際に共有するようにしているため、継続しておこなっていく。保管場所についてはわかりやすいところに置く等、検討していく。</p> <p>ヒヤリハットの共有についてはファイルも作成しているため、出勤時に確認するよう声掛けしている。</p>

(まとめ)

今年度は研修に参加する機会がなく、職員のスキルアップがなかなかできなかった。コロナ禍であってもできることをおこなっていく。また職員間でコミュニケーションをとり、情報共有ができるよう声掛けを実施していきます。職員のモチベーションをあげていけるような取り組みを試行錯誤しながら検討していきます。

今年度できなかったことを来年度は一つでもできるようになるために職員と工夫しながらおこなっていきます。